

チェルステ色のパラディーゾ シナリオ マヌーシュジャズツアー

by なななな

人数 3～5人
プレイ時間 4～5時間
テキセなら 9～12時間
リミット 3日目の夜セグメント
難易度 難しい

・舞台 シティエリア
・雰囲気 音楽・1930年代
シリアス ○★○○○ コメディ
リアル志向 ★○○○○ ファンタジー
冒険活劇 ○○○○★ 心理とドラマ

このシナリオについて

テーマ

今回は、判定をしないと解決できないクエストがかなり多い特殊なシナリオになっています。また、クエストフェイズの途中でルート分岐が挟まることもあり、クエストフェイズが非常に重要になってきます。

シナリオ紹介文

「マヌーシュ」は北の大陸の各地に散らばる流浪の人々で、街の郊外にテントを張って暮らしています。職人や芸術家、日雇い労働者として生計を立てている者が多く、全体として貧しい生活をしています。

そんなマヌーシュの中の英雄が、有名ジャズアーティストの「ドゥジャン・レナルト」です。金管楽器やドラムを使わず、アコースティック・ギターをメインに奏でる特徴的なジャズは特に西の共和国で多くのファンを得ており、彼が打ち立てた流派「マヌーシュジャズ」からは多数の有名アーティストが出ています。

そんなレナルト氏が北の大陸でツアーを開催しており、マリエッタにやって来ました。3日後にライブを開催予定ですが、マリエッタではまだそれほど名前が知られていないので、宣伝が必要です。そこで、契約飛行士たちに護衛も兼ねてのライブ協力依頼が出されました。

ディスクレーマー

本作はTRPG(テーブルトークロールプレイングゲーム)をGM(ゲームマスター)として遊ぶための「シナリオ」です。本作を読んでしまうと、このシナリオをプレイヤーとして遊ぶことが非常に困難になりますので、ご注意下さい。

本作は、Lord_phantasm / 六畳間幻想空間 著「チェルステ色のパラディーゾ」の非公式二次創作シナリオです。本作の作者は六畳間幻想空間とはなんら関係ありません。このため、ルールの理解違いや用語の違い、バランスミス等がある可能性があることをご承知おき下さい。世界設定や航空機等の設定、スキル名等には「チェルステ色のパラディーゾ」とは異なるものや独自のものが含まれますが、これもこのシナリオ限りのものです。

作者は、本作を利用された場合に生じる損害などに関して一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。本作は「解説文」が含まれますが、作者はその内容の正確性を一切保証できかねます。

本作はフィクションです。登場する人物、航空機、政党、排外主義団体、名称等は架空のものであり、実在のものとは関係ありません。本作は、欧州において古くから存在し、特に1930年代頃にナチス・ドイツで顕在化したロマの人々に対する差別、弾圧、強制収容、虐殺を背景にしておりますが、本シナリオで扱うことは完全なフィクションです。

シナリオの読み方

欄外には、読まなくていい裏設定や補足説明、解説等を書いています。

イメージを膨らませるための資料であり、このシナリオを遊ぶ上で、この部分を読む必要はありません。

黒字で書かれている部分が、シナリオの本文です。GMとしてシナリオを進めるにあたって指針となる内容が書かれています（もちろん、プレイヤーたちの考えやPCの行動に従ってアドリブで変更を加えることは、推奨されます）。

グレーで書かれている部分が、シナリオ中に読み上げるテキストです。（もちろん、NPCのキャラクター性やロールプレイに応じてアドリブで変更を加えることは、強く推奨されます。）

シナリオのあらすじ



1 ストーリー

「ジャズ」:

伝統的なヨーロッパ音楽に黒人を中心とする民族音楽などの要素を足し合わせた音楽スタイルで、ブルース、シンコペーション、ポリフォニー、即興（インプロビゼーション）といった要素を融合し一大ジャンルとなっています。

流浪の民「マヌーシュ」たちが作り上げた「マヌーシュ・ジャズ」は、特に西の共和国で栄えており、西の大陸の合州国、さらには北の大陸の全土へと広がろうとしています。大戦期以降に合州国で発展した「ジャズ」の一種で、それまでのジャズと異なりリズムを金管楽器やドラムではなくギターで取るという特色を持ちます。

マヌーシュ・ジャズが一大ジャンルとして成立したのは、1人の天才の力によります。ドゥジャン・レナルト。まだジャズが普及していなかった頃の西の共和国で、カフェテリアやダンスホールで独自のジャズを演奏する中で人気を勝ち取り、やがてレコードデビュー。レコードのベストセラーを連発してスターダムにのし上がった生ける伝説です。

今やトップスターとなったレナルトたちは海外展開を加速。このたび、北の大陸の各国を回るツアーを行うこととなり、マリエッタにやってきました。

ただ困ったことに、マリエッタでは移動はヴェスパが主です。そして、彼らが使うアコースティック・ギターは大変繊細で、飛行機に載せて移動することができません。どうにかホテルやステージまで移動する算段は付けたものの、このままでは有効な宣伝ができません。

そこで、マリエッタに詳しく空を飛ぶのが得意な契約飛行士たちを雇うことにしました。酒場で食事ついでに練習をしながら契約飛行士を探していたところ、腕利きたちが見つかります。そう、PCたちの出番です。

PCたちはライブの準備を進めながら宣伝と情報収集をしますが、その過程で、レナルトたちを狙う陰謀が発覚します。

彼らを狙っているのは「国家社会主義者」、「トータルスト」たちでした。北の大陸で猛威を振るう極右民族主義・排外主義運動で、個人の自由や民族間の平等を否定し、民族全体、国家全体への奉仕を説きます。先の大戦の犠牲者や失業者などから幅広く支持を得ており、「職を奪う」そして「劣等民族である」マヌーシュなどの少数民族を排撃しています。

もとより、マヌーシュたちは北の大陸では白眼視され、ともすれば迫害を受けてきた歴史があります。かつてはマヌーシュであるというだけで都市を追い出され、時には殺され、そして大戦後の現代になってもなお、盗人の民族であるとして偏見の目で見られています。実際、流浪の民族として都市の周縁で生活しているため常に貧困に留め置かれており、安定した職に就くことができず、このために窃盗や密輸などの犯罪に手を染める者もいるといいます。

だから、マヌーシュ・ジャズの成功は彼らにとっての救いでした。金銭的利益以上に、社会的地位の向上に大きな役割を果たしているのです。今や西の共和国の若者たちにとって、マヌーシュたちは潜在的な盗人ではなく、優れた音楽家として見られるようになりました。

レナルトは、自分が同胞のマヌーシュたちの未来を背負って演奏していると自負しており、今回のツアーも北の大陸でマヌーシュ・ジャズの名を轟かせることこそが目的です。

飛行機に載せて移動:

気圧が急激に変化するため、楽器にダメージが入ってしまいます。

だから、国家社会主義者にとってレナルトたちは目障りでした。彼ら少数民族が自由に音楽活動をして、目立つのが気に食いません。ここで、誰が主人なのか教え込む必要があります。

北の大陸の大帝国の極右団体「シュッツシュタッフエル」は、構成員をマリエッタに多数入国させ、さらには島に隠して航空機まで派遣しました。レナルトを襲撃するにあたり、陸上の警察力が弱く、観光客取入が多い大帝国に対して強い態度に出られないマリエッタという空白地帯を舞台に選んだのです。「シュッツシュタッフエル」は大戦経験者や退役軍人などの武闘派が多く、肉弾戦になってもマリエッタの警察を圧倒できます。

とはいえ、直接レナルトらを殴りつければさすがに逮捕されてしまうでしょう。そこで、この陸上部隊は「レナルトらを地上のステージに抑え込む」役割に留め、退役軍人らで構成される飛行部隊で機銃掃射を食らわせてやろうという計画を立てました。襲撃は夜間に行いますから、マリエッタの空軍が出てくる前に逃げおおせることができるでしょう。そうすれば、犯人不明のままレナルトを殺害し、世界に「シュッツシュタッフエル」の力と、逆らうことの無意味さと、恐怖を知らしめることができます。

この計画を防ぐため、PCたちが取りうる選択肢は2つです。まず、襲撃が来たときにレナルトたちを近くのヴェスパで退避させる作戦。「シュッツシュタッフエル」の飛行部隊はヴェスパを狙って来るでしょうが、空戦で勝てば守りきれられるでしょう。そして、このマリエッタの空での空戦で、外国の非正規武装集団ごときに契約飛行士が負けるはずがありません。

もう1つの選択肢は、ライブの準備が十分に進んでいた場合にのみ成立する大技です。ライブの投光のために用立てていた飛行船、これをステージに見立てて、襲撃を受けた後も飛行船の上でライブを継続するのです。空軍から調達した大型拡声器があれば、空のステージも十分可能です。

この場合、PCたちは襲い来る飛行部隊から飛行船を守らなければなりません。戦いはより厳しくなります。さらに、空のステージの準備や避難誘導の手配もしっかりと行わなければ、ステージは失敗に終わってしまうでしょう。ハイリスクですが、もしすべてうまくいけば、「シュッツシュタッフエル」の暴力に屈せずにライブを完遂したということで大きな報道が見込めます。マリエッタの主権を軽んじた挙げ句襲撃に失敗した「シュッツシュタッフエル」の面目をつぶせることでしょう。

エンディングはライブの準備量によって変化しますが、最高のエンディングを迎えられた場合、世界の運命すら変わる結果になります。



今回予告

音楽には人の心を動かす力がある。

流浪の民たちが奏でるジャズは、楽しくて、自由で、希望にあふれている。

「マヌーシュジャズの英雄、来る！」

碧い海と大空の国でこの報せを運ぶのは、楽しく自由な契約飛行士こそふさわしい。

一方、戦争の傷跡から半島で生まれ落ちた黒い闇は、経済危機と貧困を糧に育ち、今や世界へと広がりつつある。

日に日に濃くなる敵意の眼は、この島にも及ぶのだろうか。

チェレステ色のパラディーゾ

「マヌーシュジャズツアー」

大陸を覆う黒雲、打ち払うは翠碧色した自由の翼

ここは飛行艇乗り達の楽園

セッション開始前か募集時に、この「今回予告」を伝えて下さい。また、今回のクエストマップが「シティエリア」であることを伝えて下さい。その後、全参加者とPCの自己紹介を行ったら、挨拶をしてオープニングフェイズに移行します。



3 オープニングフェイズ

▼ジャズ・エイジ

オープニングフェイズは、PCたちがいるマスターの酒場「ローザ・ブル」で、流れの音楽家たちが練習を始めるところから始まります。

ジャズの時代がやって来ました。

西の合州国で生まれ、ラグタイムやブルースといった大衆音楽をルーツに持つこの音楽ジャンルは、伝統的なクラシック音楽に非白人系の音楽文化や軍隊音楽の要素を加え、スウィングや掛け合い、自由なリズムといった特徴を持ちます。

大戦期以降に西の大陸から北の大陸に伝播してきており、マリエッタでも今ちょうど、急速に広まっているところですよ。

観光地であるマリエッタでは、音楽が果たす役割は大きいもの。レストランやカジノではレコードや生演奏が聴かれますし、特にダンスホールでは大音量で演奏されます。ジャズはダンス向きの音楽。ドラムやコントラバスがテンポを取ってくれるのです。

ここ、皆さんがいる酒場でも、耳障りにならない程度の音量で蓄音機からレコードが流れています。西の大陸からの輸入盤、ヒット曲らしいですよ。

そこへ、皆さんから離れた席のテーブルにいる4人組が、何やらケースから楽器を取り出しています。

リーダーらしき男が取り出したのは、かなり大型のアコースティック・ギター。特徴的なことに、穴の部分が「D」型になっています。

そして、おそらく練習でしょうか？同じフレーズを何度か繰り返しながら、酒場の隅で演奏を始めました。

▼判定の練習

ここで、2つの判定をお願いします。1つ目は【技術】 + 【反応】、2つ目は【感覚】 + 【教養】です。

まず、【技術】 + 【反応】で成功した人はわかります。彼らの音楽はジャズのようなのですが、今まであまり聴いたことがない雰囲気です。というか、ドラムもトランペットみたいな金管楽器もない、ギターがメイン。ギターを一定のリズムで鳴らして、テンポを作っています。

そしてこの4人、凄まじい腕前です。特にリーダーの男は自由奔放に即興しながら演奏しているようで、心に残るメロディを次々に繰り出しています。バンドのメンバーたちもそれに合わせて適切な和音で演奏しており、ときおり凄腕のテクニックを披露しています。

それから、【感覚】 + 【教養】で成功した人はわかります。彼らの身なりや顔の特徴からすると、おそらくは流浪の民「マヌーシュ」です。「穢れ」の意識が強い独特な文化信仰を持ち、上半身と下半身の服を別々に洗ったり、爪を爪切りではなくヤスリで磨いたりするといいます。

彼らは職人や大工に加えてスリや密輸をやっている人が多いとされており、北の大陸の特に中央部では白眼視されています。島国であるマリエッタではほぼ見かけない人々ですが、ミュージシャンとして来たのでしょうか？

▼ジャズ・バンドからの依頼

さて、演奏もたけなわ。ノッてきたらしい4人の演奏は激しさと音量を増しており、空気を読んだパーティーは蓄音機の方の音量を下げました。

今や酒場の客たちの視線は4人に注がれており、足で軽くリズムを取ったり手拍子をしたりしている人もいます。

数分経って、曲が最高潮を迎えてフィニッシュすると、万雷の拍手が巻き起こりました。おひねりのコインもたくさん飛んでいます。

4人は礼をすると、リーダーらしき男が口を開きます。バンドのリーダー「聴いてくれてありがとう！マリエッタでも通用するか、不安だったんだ！」

バンドのリーダー「お願いがあるんだ！この国には、『契約飛行士』というのがあるんだろう？」

バンドのリーダー「実は僕たち、3日後にホテルでライブをやるんだ。でも、この国では空を飛ばないとマトモに移動できないみたいで、まだ十分に宣伝ができていないんだよ。ラジオでは流したんだけど……。」

バンドのリーダー「だから、空を飛ぶのが上手い人たちに、宣伝とかを手伝ってほしいんだ。」

バンドのリーダー「お金ならあるよ、ライブの報酬とかね。さあ、どうかなあ？」

ちょうど酒場には、契約飛行士は皆さんしかいなかったみたいです。

マスター「ドゥジャン・レナルト様でいらっしゃいますね。当店をご利用頂き、光栄です。」

マスター「彼らの腕前は確かです。急な依頼ではあれど、確実に成し遂げることでしょ。」

と、マスターもコップを拭いながら援護射撃してくれます。

プレイヤーたちが依頼を受けることに決めたら、以下のセリフを出してからオープニングフェイズを終了し、クエストフェイズに移行します。

依頼を受けることに決めたら：プレイヤーが難色を示すようなら、この時期は契約飛行士への依頼も少なく、このチャンスを見逃す手はないことを伝えて下さい。

キャセロール：肉類を野菜や調味料と合わせて煮込んだ料理で、語源は「鍋入りの」。調理に使った鍋をそのまま出すことから。ここで出されたのは、マカロニにエッグヌードルやツナ缶、コーン、オニオンなどを合わせて作ったもので、材料はすべて保存が利くものです。

レナルト「ありがとう！いやね、この国は空も海もきれいだし、食べ物も良いけど、移動に困っててね。」
 レナルト「この人たちはどうしてあも簡単そうに、飛行機に乗れるんだろう。」
 レナルト「僕らには無理だ。だって、飛行機に載せて高く飛ぶと、ギターが悲鳴をあげちゃうんだ。」
 レナルト「だから、ライブの会場もホテルの近くの野外ステージにしたのさ。」

レナルト「僕たちはホテル・マリエッタ・ドン・ジョヴァンニに泊まる予定だよ。これから車で何時間かかけて移動するんだ。」
 レナルト「ライブの宣伝とか、準備とか、手伝ってくるととても助かる。報酬は出すから、お願いだよ。」
 レナルト「このツアーは、必ず成功させなくっちゃいけないんだ。マヌーシェみんなのためにも。」

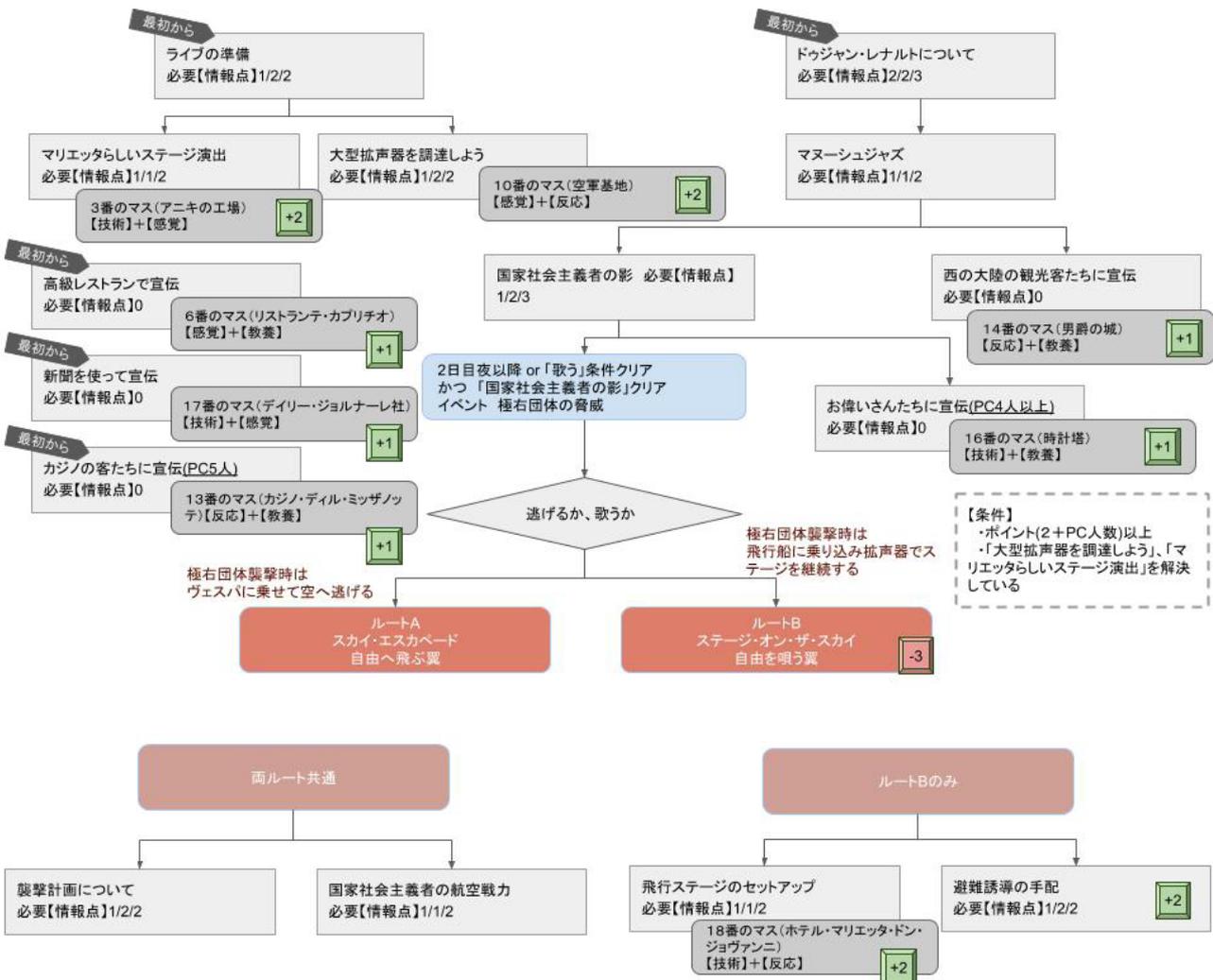
クエストフェイズ



4 クエストの構造

本シナリオのクエストカードは、右上のフローチャートの条件で出現していきます。付記してある必要【情報点】はPC人数に応じて変化します。それぞれ、3人用、4人用、5人用です。

灰色四角：クエストカード
 灰色角丸：判定が必要なクエスト
 青色角丸：イベント
 赤色角丸：ルート分岐





5 クエストフェイズ

今回のクエストフェイズは「3日目の夜」がリミットになります。3日目の夜が終了した段階で、チェイスフェイズに移行します。

クエストフェイズが始まったら、GM は以下のクエストを公開して下さい。「……宣伝」は必要情報点が0であり、最初からクエスト詳細まで公開されます。

- ・ 「ライブの準備」
- ・ 「ドゥジャン・レナルトについて」
- ・ 「高級レストランで宣伝」
- ・ 「新聞を使って宣伝」
- ・ (PC が5人の場合) 「カジノの客たちに宣伝」

なお、このシナリオではクエストカードが非常に多く設定されていますが、すべてクリアする必要はありません。クリアした数が多ければ、チェイスフェイズで有利になったりエンディングが変化することがあります。

このシナリオでは、クエストによる情報収集に加えて、シティ・エリアの各地で宣伝クエストの判定を行うことで「エキサイト・ポイント」を増やすことができます。この「エキサイト・ポイント」の多寡によって、エンディングが変化します。本シナリオでは、チェイスフェイズで勝利するだけでは最高のエンディングには辿り着けません。目的はあくまでライブの成功なのです。クエストフェイズで積極的にキズナなどを投じて、「エキサイト・ポイント」を増やしていく必要があります。



6 クエストカード

ゲームバランスの関係上、本シナリオではPCの人数に応じてクエストの開示に求められる必要【情報点】が異なります。以下のように対応する人数を示しますので、該当するPC人数のクエストカードを使用するようにして下さい。

クエストカードの大部分は、別のクエストカードやマスターシーンを条件として公開します。条件が2つ以上ある場合、その両方を満たした段階で、クエストを公開して下さい。たとえば「ライブの準備」の開示が条件となる場合、以下のように表示します。

PC 3人 PC 4人 PC 5人

最初から公開

QUEST

クエストカード

最初から公開

高級レストランで宣伝

クエスト名

ライブに来そうな人が集まる場所といえば、高級レストランだ。ここの客層は音楽感覚が高く、またライブチケットをポンと買える資金力もある。

必要情報点

0

クエスト概要

クエスト詳細

レストランテの中は賑やかな雰囲気、しかもクラシック音楽の生演奏まで行われている。この中で空気を壊さずにエレガントに宣伝を行うには、相應のセンスが求められる。

ライブ

エキサイト・ポイント+1

解決場所

6番（レストランテ・カプリチオ）

解決方法

【感覚】+【教養】の判定に成功する

QUEST クエストカード

新聞を使って宣伝

クエスト名

レナルトたちは主要新聞に広告を出したというが、マリエッタイベントの告知をやるなら「デイリー・ジョルナーレ」の方が読まれる。

必要情報点

0

クエスト概要

→

クエスト詳細

デイリー・ジョルナーレ誌には毎日数十もの広告が掲載される。その中で目立って、読んでもらうには、ひねったキャッチコピーが必要だろう。うまい宣伝文句を考えよう。

ライブ

エキサイト・ポイント+1

解決場所

17番(デイリー・ジョルナーレ社)

解決方法

【技術】+【感覚】の判定に成功する

PC 5人

最初から公開

QUEST クエストカード

カジノの客たちに宣伝

クエスト名

マリエッタで娯楽といえは、ミッサノッテのカジノだ。ここにいる道楽者たちは新し物好きだから、最新のジャズと聞けばきっと興味を持つだろう。

必要情報点

0

クエスト概要

→

クエスト詳細

カジノのフロアマネージャーに宣伝をしたいと相談したところ、「客を取られるような真似はそう簡単に許すわけにはいかない」と、ルールブック勝負を持ち掛けられた。勝負に勝てれば、ホール内の客に宣伝をしてくれるそうだ。

ライブ

エキサイト・ポイント+1

解決場所

18番(カジノ・ティル・ミッサノッテ)

解決方法

【反応】+【教養】の判定に成功する

7

QUEST クエストカード

ライブの準備 クエスト名

マリエッタに不案内なレナルトたちは、ライブの準備にも四苦八苦しているようだ。ウェスパで移動ができるマネージャやフロテューサーは先行して駆け回っているものの、言葉の壁もあって、てんでこまいの様子。

ライブの成功のために、何か手伝えることはあるだろうか？

必要情報点

1

クエスト概要

クエスト詳細

レナルトたちにヒアリングした内容と、マリエッタ地元民の知識を合わせると、2つほど手伝えそうな件がありそうだ。追加報酬ももらえるという話になった。

まず、ステージ演出。演奏を行うホテル前の広場は横からしか投光できないようだ。しかしここはマリエッタ。何かの手段で空から投光できないだろうか。それから、音響。確か空軍が大型拡声器を導入していたが、使わせてもらえないだろうか？

ペナルティ

なし

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

QUEST クエストカード

ドゥジャン・レナルト について クエスト名

ジャズの世界のスーパー・スター、ドゥジャン・レナルト。陽気で人懐っこい笑みを持ちながらも、どこか格離れした雰囲気をまとっていた。そして今回の依頼。ライブの準備のために、わざわざ「契約飛行士」を雇うだろうか？

依頼をしっかりと完遂するためにも、彼についてもう少し詳しく調べてみよう。

必要情報点

2

クエスト概要

クエスト詳細

レナルトは、天才だった。マヌーシュたちにとっては昔から、音楽の演奏というものは日銭を稼ぐ重要な手段の1つだった。レナルトは、マヌーシュの伝統的な技法を西の大陸のジャズと融合し、独自の世界を作り上げて西の共和国で大ヒットさせた。

彼に憧れ、彼を真似するマヌーシュの若者たちは多く、やがて「マヌーシュジャズ」という1つのジャンルを作り上げた。そして、そんな彼らを気に入らない者たちもいた。

ペナルティ

なし

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

QUEST クエストカード

ライブの準備 クエスト名

マリエッタに不案内なレナルトたちは、ライブの準備にも四苦八苦しているようだ。ウェスパで移動ができるマネージャーやプロデューサーは先行して駆け回っているものの、言葉の壁もあって、てんでこまいの様子。

ライブの成功のために、何か手伝えることはあるだろうか？

クエスト概要

必要情報点

2

クエスト詳細

レナルトたちにヒアリングした内容と、マリエッタ地元民の知識を合わせると、2つほど手伝えそうな件がありそうだ。追加報酬ももらえるという話になった。

まず、ステージ演出。演奏を行うホテル前の広場は横からしか投光できないようだ。しかしここはマリエッタ。何かの手段で空から投光できないだろうか。それから、音響。確か空軍が大型拡声器を導入していたが、使わせてもらえないだろうか？

ペナルティ

なし

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

QUEST クエストカード

ドゥジャン・レナルト
について クエスト名

ジャズの世界のスーパー・スター、ドゥジャン・レナルト。陽気で人懐っこい笑みを持ちながらも、どこか俗離れした雰囲気をもっていた。そして今回の依頼。ライブの準備のために、わざわざ「契約飛行士」を雇うだろうか？

依頼をしっかりと完遂するためにも、彼についてもう少し詳しく調べてみよう。

クエスト概要

必要情報点

3

クエスト詳細

レナルトは、天才だった。マヌーシュたちにとっては昔から、音楽の演奏というものは日銭を稼ぐ重要な手段の1つだった。レナルトは、マヌーシュの伝統的な技法を西の大陸のジャズと融合し、独自の世界を作り上げて西の共和国で大ヒットさせた。

彼に憧れ、彼を真似するマヌーシュの若者たちは多く、やがて「マヌーシュジャズ」という1つのジャンルを作り上げた。そして、そんな彼らを気に入らない者たちもいた。

ペナルティ

なし

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

QUEST クエストカード

大型拡声器を調達しよう

レナルトたちが調達したスピーカーは確かに音質は良いが、ステージの広さを考えれば音量が足りない。都合の良いことに、空軍が北の大陸から大型拡声器を調達していたはずだ。

空軍のパイロットは夜間飛行なんざロクにできない。

どうせ夜は使わないのだから、ライブのために貸してもらおう。

必要情報点

1

クエスト概要

クエスト詳細

空軍の偉いさんは取り付く島もないが、整備士たちに話を付けることができた。ライブの前日に、拡声器を取り外して会場に持ってきてくれるという話になった。

報酬は、特等席のチケットを数枚。レナルトたちのバンドには、空軍にも隠れたファンがいらしい。

ライブ

エキサイト・ポイント+2

解決場所

10番（空軍基地）

解決方法

【感覚】+【反応】の判定に成功する

QUEST クエストカード

マリエッタらしい ステージ演出

会場となるホテル・マリエッタ・ドン・ジョヴァンニ二前の広場は、マリエッタで取れる会場としては最も広く、以前別の著名バンドがこの広場でライブを開催したこともある。

しかし、専用のステージ設備は無い。即席で備え付けられたタイムライト（カルシウムライト）はあるものの、横からの照明しかないというのは弱いかもしれない。

必要情報点

1

クエスト概要

クエスト詳細

別のバンドがライブをしたときは、なんと飛行船を使って上から照明を当てていたそう。幸い、そのときに使った飛行船は工場地域に保管されているようで、ヘリウムガスを調達できれば使えるようになるかもしれない。

ライブ

エキサイト・ポイント+2

解決場所

3番（アニキの工場）

解決方法

【技術】+【感覚】の判定に成功する

QUEST クエストカード

大型拡声器を調達しよう

レナルトたちが調達したスピーカーは確かに音質は良いが、ステージの広さを考えれば音量が足りない。都合の良いことに、空軍が北の大陸から大型拡声器を調達していたはずだ。

空軍のパイロットは夜間飛行なんざロクにできない。

必要情報点

2

どうせ夜は使わないのだから、ライブのために貸してもらおう。

クエスト概要

クエスト詳細

空軍の偉いさんは取り付く島もないが、整備士たちに話を付けることができた。ライブの前日に、拡声器を取り外して会場に持ってきてくれるという話になった。

報酬は、特等席のチケットを数枚。レナルトたちのバンドには、空軍にも隠れたファンがいっぱい。

ライブ

エキサイト・ポイント+2

解決場所

10番（空軍基地）

解決方法

【感覚】+【反応】の判定に成功する

QUEST クエストカード

マリエッタらしい ステージ演出

会場となるホテル・マリエッタ・ドン・ジョヴァンニ前の広場は、マリエッタが取れる会場としては最も広く、以前別の著名バンドがこの広場でライブを開催したこともある。

しかし、専用のステージ設備は無い。即席で備え付けられたライムライト（カルシウムライト）はあるものの、横からの照明しかないというのは弱いかもしれない。

必要情報点

2

クエスト概要

クエスト詳細

別のバンドがライブをしたときは、なんと飛行船を使って上から照明を当てていたそう。幸い、そのときに使った飛行船は工場地域に保管されているようで、ヘリウムガスを調達できれば使えるようになるかもしれない。

ライブ

エキサイト・ポイント+2

解決場所

8番（アニキの工場）

解決方法

【技術】+【感覚】の判定に成功する

QUEST クエストカード

マヌーシュジャズ

マヌーシュジャズは、北の大陸で急速に広まっている。しかし、伝統的に貧困に置かれてきたマヌーシュたちが、音楽のスターダムに上がるというのを快く思わない者もいるらしい。マヌーシュたちがアコースティック・ギターを使うのは、伝統を守っているからであり、そして電気が使えなかったからだ。

必要情報点

1

2人で交互に手を叩く「バルマ」やギターリズムを取る「ラ・ボンア」も、高価な機材を使わずに済む伝統技法である。

クエスト詳細

北の大陸の、特にマリエッタに近い半島や、中央の大帝国で、「国家社会主義」が広がっている。経済危機を以て失業の原因をマヌーシュのような少数民族に被せ、個人の自由よりも「民族全体」を優先する「トータリズム」だ。

今回のマヌーシュジャズ・ツアーは、北の大陸の各地で国家社会主義者による妨害活動を受けたりしい。レナルトたちは、マリエッタなら大丈夫だと考えたようだが……。しかしマリエッタ地元民の契約飛行士たちは知っている。この島では、観光客の多数を占める大帝国の影響力が、外から見える以上に強いのだ。

ペナルティ

なし

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

QUEST クエストカード

国家社会主義者の影

もとより観光客に頼むところが多く、マヌーシュはそもそも人数が少ないマリエッタでは、民族差別の問題は大きくはない。そこで、少数民族へのハラスメントをやらんとするのは、おそらく外部の影響、そして外部犯だろう。マリエッタ内の情報ネットワークを使って、彼らの陰謀を事前に察知しよう。

必要情報点

1

それに、確たる情報があれば「護衛任務」も加えられよう。レナルトたちから追加報酬ももらえるはずだ。

最近マリエッタに入国した者のリストを洗うと、極右暴力団体である「シュツシュタッフエル」のメンバーが複数入ってきていることがわかった。それも、大戦経験者や国防軍出身者だ。武装戦闘要員である。レナルトのツアーで回る各国の中で、大陸と比べると警察力が弱いマリエッタを、むしろ狙ってきているようだ。

要するに外国の非正規武装集団がマリエッタ国内で狼藉を働こうということなのだが、空軍の介入はあまり期待できない。大帝国との共同教練や装備のリース、共同開発を行っている空軍には、親大帝国派、ひいては国家社会主義者のシンパが多いのだ。それにどの道、空軍のパイロットは夜間飛行もロクにできない。

ペナルティ

チェイスフェイズで登場するモブ「親衛隊飛行部隊」の【練度】を+2する。

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

QUEST クエストカード

マヌーシュジャズ

マヌーシュジャズは、北の大陸で急速に広まっている。しかし、伝統的に貧困に置かれてきたマヌーシュたちが、音楽のスターダムに上がるというのを快く思わない者もいるらしい。マヌーシュたちがアコースティック・ギターを使うのは、伝統を守っているからであり、そして電気が使えなかったからだ。

必要情報点

2

2人で交互に手を叩く「バルマ」やギターリズムを取る「ラ・ボンア」も、高価な機材を使わずに済む伝統技法である。

クエスト詳細

北の大陸の、特にマリエッタに近い半島や、中央の大帝国で、「国家社会主義」が広がってきている。経済危機を以て失業の原因をマヌーシュのような少数民族に被せ、個人の自由よりも「民族全体」を優先する「トータリズム」だ。

今回のマヌーシュジャズ・ツアーは、北の大陸の各地で国家社会主義者による妨害活動を受けたりしい。レナルトたちは、マリエッタなら大丈夫だと考えたようだが……。しかしマリエッタ地元民の契約飛行士たちは知っている。この島では、観光客の多数を占める大帝国の影響力が、外から見える以上に強いのだ。

ペナルティ

なし

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

QUEST クエストカード

国家社会主義者の影

もとより観光客に頼むところが多く、マヌーシュはそもそも人数が少ないマリエッタでは、民族差別の問題は大きくはない。そこで、少数民族へのハラメントをやろうとするのは、おそらく外部の影響、そして外部犯だろう。マリエッタ内の情報ネットワークを使って、彼らの陰謀を事前に察知しよう。

必要情報点

2

それに、確たる情報があれば「護衛任務」も加えられよう。レナルトたちから追加報酬ももらえるはずだ。

最近マリエッタに入国した者のリストを洗うと、極右暴力団体である「シュツシュタッフエル」のメンバーが複数入ってきていることがわかった。それも、大戦経験者や国防軍出身者だ。武装戦闘要員である。レナルトのツアーで回る各国の中で、大陸と比べると警察力が弱いマリエッタを、むしろ狙ってきているようだ。

要するに外国の非正規武装集団がマリエッタ国内で狼藉を働こうということなのだが、空軍の介入はあまり期待できない。大帝国との共同教練や装備のリース、共同開発を行っている空軍には、親大帝国派、ひいては国家社会主義者のシンパが多いのだ。それにどの道、空軍のパイロットは夜間飛行もロクにできない。

ペナルティ

チェイスフェイズで登場するモブ「親衛隊飛行部隊」の【練度】を+2する。

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

QUEST

クエストカード

国家社会主義者の影

クエスト名

もとより観光客に頼むところが多く、マヌーシュはそもそも人数が少ないマリエッタは、民族差別の問題は大きくはない。そこで、少数民族へのハラスメントをやろうとするのは、おそらく外部の影響、そして外部犯だろう。マリエッタ内の情報ネットワークを使って、彼らの陰謀を事前に察知しよう。

必要情報点

1

それに、確たる情報があれば「護衛任務」も加えられよう。レナルトたちから追加報酬ももらえるはずだ。

クエスト概要

最近マリエッタに入国した者のリストを洗うと、極右暴力団体である「シュツシュタッフエル」のメンバーが複数入ってきていることがわかった。それも、大戦経験者や国防軍出身者だ。武装戦闘要員である。レナルトのツアーで回る各国の中で、大陸と比べると警察力が弱いマリエッタを、むしろ狙ってきているようだ。

要するに外国の非正規武装集団がマリエッタ国内で狼藉を働こうということなのだが、空軍の介入はあまり期待できない。大帝国との共同教練や装備のリース、共同開発を行っている空軍には、親大帝国派、ひいては国家社会主義者のシンパが多いのだ。それにどの道、空軍のパイロットは夜間飛行もロクにできない。

ペナルティ

チェイスフェイズで登場するモブ「親衛隊飛行部隊」の【練度】を+2する。

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

QUEST

クエストカード

お偉いさんたちに宣伝

クエスト名

今回のライブは急速に政治的意味合いを帯びてきた。その意義を強調すれば、「MNP」、「IP」の議員たちや関係者、それからマリエッタの財界など、お偉いさんたちも興味を持つかもしれない。

必要情報点

0

クエスト概要

クエスト詳細

お偉いさんは官庁街につかまえられるが、なにぶん多忙なため、話を聞いてもらうのは難しい。ロビイストを使うなど何かうまい手を考えて、ライブの宣伝を耳に届けよう。

ライブ

エキサイト・ポイント+1

解決場所

16番(時計塔)

解決方法

【技術】+【教養】の判定に成功する

QUEST

クエストカード

西の大陸の観光客たちに宣伝

マヌーシュジャズについて詳しく調べてみたところ、どうもこれは西の大陸の観光客たちにウケる気がしてきた。西の合州国はジャズの本場だが、マヌーシュジャズはまだ十分理解されているとはいえない。

必要情報点

0

クエスト概要

クエスト詳細

ちょうど、西の合州国からの団体観光客が男爵の城のあたりをツアーを行っているようだ。ジャズには一家言ある彼らだが、うまく説き伏せることができればライブに呼び込めるかもしれない。

ライブ

エキサイト・ポイント+1

解決場所

14番（男爵の城）

解決方法

【反応】+【教養】
の判定に成功する

QUEST

クエストカード

襲撃計画について

クエスト名

「シュッツシュタッフエル」のメンバーが入国してきていることまではわかったが、具体的な襲撃計画は纏めていない。マリエッタ内の情報網を利用して彼らの動向を探り、その企てを暴こう。

クエスト詳細

シュッツシュタッフエルはレナルトたちに暴行を振るうつもりではいるが、官憲に捕まるのは怖い。そこで、地上部隊（ごろつきたち）は直接手を下さずにレナルトらをステージ上に留め、飛行部隊が空から機銃掃射を仕掛けるという計画のようだ。飛行部隊が首尾よく逃げおおせれば、実行犯は誰も逮捕されなくて済む、というわけだ。

必要情報点

→

1

クエスト概要

ペナルティ

チェイスフェイズで登場するモブ「親衛隊飛行部隊」の【練度】を+2する。

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

PC 3人

イベント「極右団体の脅威」発生

QUEST

クエストカード

国家社会主義者の航空戦力

クエスト名

情報によれば、シュッツシュタッフエルはパイロットまで入国させてきているらしい。空賊のように周囲の島を拠点にすることもできようし、金さえあれば、マリエッタ入国後に航空機を手に入れることもできるだろう。

おそらく空戦になる。事前に、彼らの戦力を調べておこう。

クエスト詳細

彼らが輸入した機材や目撃情報から逆算すると、シュッツシュタッフエルが使おうとしているのは He51 B-2 だろう。He51 は複葉機の練習機として設計されたものの、高い機動性から十年前後に戦闘機としても採用され、水上機型として He51 B-2/H が生産された。

今や型落ち機とはいえ、複葉機だけあって機動力は非常に優れている。しかしエンジン出力が絶対的に弱く、装甲も無い。一撃離脱を仕掛ければ容易に狩れるだろう。

必要情報点

→

1

クエスト概要

ペナルティ

チェイスフェイズで登場するモブ「親衛隊飛行部隊」の【攻撃力】を+1する。

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

16

QUEST クエストカード

襲撃計画について

クエスト名

「シュッツシュタッフエル」のメンバーが入国してきていることまではわかったが、具体的な襲撃計画は纏めていない。マリエッタ内の情報網を利用して彼らの動向を探り、その企てを暴こう。

必要情報点

2

クエスト概要

クエスト詳細

シュッツシュタッフエルはレナルトたちに暴行を振るうつもりではいるが、官憲に捕まるのは怖い。そこで、地上部隊（ごろつきたち）は直接手を下さずにレナルトらをステージ上に留め、飛行部隊が空から機銃掃射を仕掛けるという計画のようだ。飛行部隊が首尾よく逃げおおせれば、実行犯は誰も逮捕されなくて済む、というわけだ。

ペナルティ

チェイスフェイズで登場するモブ「親衛隊飛行部隊」の【練度】を+2する。

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

QUEST クエストカード

国家社会主義者の航空戦力

クエスト名

情報によれば、シュッツシュタッフエルはパイロットまで入国させてきているらしい。空賊のように周囲の島を拠点にすることもできようし、金さえあれば、マリエッタ入国後に航空機を手に入れることもできるだろう。

おそらく空戦になる。事前に、彼らの戦力を調べておこう。

必要情報点

2

クエスト概要

クエスト詳細

彼らが輸入した機材や目撃情報から逆算すると、シュッツシュタッフエルが使おうとしているのは He51 B-2 だろう。He51 は複葉機の練習機として設計されたものの、高い機動性から十年前に戦闘機としても採用され、水上機型として He51 B-2/H が生産された。

今や型落ち機とはいえ、複葉機だけあって機動力は非常に優れている。しかしエンジン出力が絶対的に弱く、装甲も無い。一撃離脱を仕掛ければ容易に狩れるだろう。

ペナルティ

チェイスフェイズで登場するモブ「親衛隊飛行部隊」の【攻撃力】を+1する。

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

QUEST クエストカード

飛行ステージのセットアップ

飛行船の上からライブを行うなんて前代未聞だ。理屈の上では可能でも、実際にやるとなればどんな問題が起きるかかわからない。特に重要なのが操舵手で、地上近くは風の影響が強いので、係留しながらであっても同じ場所に滞空し続けることは難しい。頼りになるパイロットを手配する必要があるだろう。

必要情報点

1

クエスト概要

クエスト詳細

運良く、以前この飛行船をライブに使った際に操舵を担当していたパイロットが見つかった。かつては北西の島国で飛行船パイロットをしていて、今はリタイアしてマリエッタで余生を過ごしているという。

とはいえ、飛行船操縦の世界ではブランクの影響は大きい。再訓練の必要がある。契約飛行士として、リハーサルを手伝ってあげよう。

ライブ

エキサイト・ポイント+2

解決場所

18番(ホテル・マリエッタ・ドン・ジョヴァンニ)

解決方法

【技術】+【反応】の判定に成功する

QUEST クエストカード

避難誘導の手配

ライブを継続することについて、警察としては、右翼団体の暴力を飛行船が引き付けてくれたほうがむしろ助かる、という態度のようだ。しかし、押し寄せた「シュッツシュタッフエル」の連中が観客に何をするかかわからない。近くで空戦もやることになるから、流れ弾も怖い。あらかじめ警察に話を通しておくとともに、近くのホテルのロビーなどを避難先にして誘導を行うことで、安全にライブを聴けるようにしよう。

必要情報点

1

クエスト概要

クエスト詳細

警察やホテルなどとの協議の結果、避難ルートを構築し誘導要員を確保することができた。また、ステージが空中になればホテルのバルコニーなどからもライブが聴けるということで、ホテル内でも裏で宣伝をしてくれるようだ。観客がパニックを起こさないよう、レナルトから「落ち着いて避難してくれ」と呼びかける音段も整えた。

これで大きな混乱は避けられるだろう。

ライブ

エキサイト・ポイント+2

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

QUEST

クエストカード

飛行ステージのセットアップ

飛行船の上からライブを行うなんて前代未聞だ。理屈の上では可能でも、実際にやるとなればどんな問題が起きるかわからない。特に重要なのが操舵手で、地上近くは風の影響が強いため、係留しながらであっても同じ場所に滞空し続けることは難しい。頼りになるパイロットを手配する必要があるだろう。

必要情報点

2

クエスト概要

クエスト詳細

運良く、以前この飛行船をライブに使った際に操舵を担当していたパイロットが見つかった。かつては北西の島国で飛行船パイロットをしていて、今はリタイアしてマリエッタで余生を過ごしているという。

とはいえ、飛行船操縦の世界ではブランクの影響は大きい。再訓練の必要がある。契約飛行士として、リハーサルを手伝ってあげよう。

ライブ

エキサイト・ポイント + 2

解決場所

18番 (ホテル・マリエッタ・ドン・ジョヴァンニ)

解決方法

【技術】 + 【反応】
の判定に成功する

QUEST

クエストカード

避難誘導の手配

ライブを継続することについて、警察としては、右翼団体の暴力を飛行船が引き付けてくれたほうがむしろ助かる、という態度のようだ。しかし、押し寄せた「シュツシュタッフェル」の連中が観客に何をすることがわからない。近くで空戦もやることになるから、流れ弾も怖い。あらかじめ警察に話を通しておくとともに、近くのホテルのロビーなどを避難先にして誘導を行うことで、安全にライブを聴けるようにしよう。

必要情報点

2

クエスト概要

クエスト詳細

警察やホテルなどとの協議の結果、避難ルートを構築し誘導要員を確保することができた。また、ステージが空中になればホテルのバルコニーなどからもライブが聴けるということも、ホテル内でも裏で宣伝をしてくれるようだ。観客がパニックを起こさないよう、レポートから「落ち着いて避難してくれ」と呼びかける算段も整えた。

これで大きな混乱は避けられるだろう。

ライブ

エキサイト・ポイント + 2

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに
解決する



7 イベント 極右団体の脅威

- ・ クエスト「国家社会主義者の影」解決

の条件を満たした状態で、

- ・ 2日目夜以降である

もしくは

【ルート B 条件 以下3条件すべてを満たす】

- ・ エキサイト・ポイント [PC 人数+2] 以上
- ・ クエスト「大型拡声器を調達しよう」解決
- ・ クエスト「マリエッタらしいステージ演出」解決

以上の条件を満たしたら、PC が集まっているロケーションで、次のような描写をします。その上で、【ルート B 条件】を満たしていた場合は、ルート A とルート B の選択を行います。

まずは、PC がないマスターシーンです。

マスターシーン シュッツシュタッフェルの集会

ここでマスターシーン。

マリエッタのどこかの島で、粗野な風貌の男たちが十数名ほど集まっています。木箱に乗った大柄な男がリーダーでしょう。メガホンを構え、呼びかけます。

暴徒リーダー「どうだみんな、マリエッタは美しい場所だろう。バカンス、楽しんでるか？」

暴徒リーダー「こんな美しい島なのに、汚らわしいマヌーシュどもが耳障りな演奏をしようとしているらしい。こりゃあ騒音公害だ。」

それを聞いた暴徒たちは口々にわめきます。

暴徒リーダー「あいつらは目立ち過ぎだ。流れ者は、森の中で暮らしてるくらいがちょうど良いんだ。」

暴徒リーダー「だから、我々が制裁を加えよう。鉄槌を！」

暴徒リーダー「ハイル！」

暴徒たち「ハイル！」

暴徒たちは興奮した様子で、シュプレヒコールを繰り返しています。それを眺める暴徒のリーダーの眼は、爛々と輝いています……。

マスターシーンの後で、PC たちとレナルトたちのシーンを行います。PC たちが他の場所においても、参加できるようにして下さい。

レナルトたちに報告

さて、国家社会主義者たちがライブの襲撃を企んでいるらしいことを報告すると、レナルトたちは動揺した様子を見せます。

レナルト「襲撃？ 僕たちのライブを？」

レナルト「ハ、ハハ。いじめっ子は怖いね。こんな遠くの国でも、僕らを殴りつけようってのか。」

マネージャー「レナルトさん、これはまずいですよ。相手はよりもよってシュッツシュタッフェルです！ 言い方は悪いですが、マリエッタの警察で対抗できる相手じゃない！」

レナルト「だからって中止するわけにはいかない！ ファンが待っているんだ。それに……。」

レナルト「僕には退けない理由がある。」

バンドの他の仲間も頷いています。

レナルト「僕らが厄介者だって？ 違う。あいつらが僕らを街からはじき出したからなんだ。」

レナルト「ジャズは、僕らが抑圧と戦うための、武器だ。」
レナルト「ライブはやろう。暴力で僕らは止められないってことを、世界に見せる必要がある。」

レナルト「あいつらは暴力を見せつけることで人を従わせようとする。だから、1人1人が、毅然として立ち向かわないとけない。」

マネージャー「しかし、安全を確保する必要があります。あなたの身に何かあったら……。」

マネージャー「幸い、ステージの近くにはホテル・マリエッタ・ドン・ジョヴァンニの発着場があります。」

マネージャー「ヴェスバを確保しておけば、いざとなったらそこから逃げられるでしょう。」

レナルト「逃げるのか、仕方ないか……！」

レナルトたちは皆さんの方に向き直ります。

マネージャー「ヴェスバで逃げるにしても、そこで襲撃を受ける可能性があります。」

マネージャー「そのときは、契約飛行士の皆さんのお力を借りる他ありません。追加報酬はお支払いしますので、どうか我々を守ってください。」

レナルトは唇を噛んでいます。

ハイル！：

ここでは「万歳」のような意味です。本シナリオはフィクションであり、実在の政治結社等とは関係ありません。

【ルート B】の可能性

このとき、【ルート B 条件】を満たしているならば、以下の描写も行います。

それでは、レナルトたちは困り顔の様子ですが。ステージの地図を見た皆さんには、思い当たることがあります。

ライブ会場は円形の広場であり、ステージの後ろ側は衝立を挟んで広いスペースになっています。

ここに飛行船を下ろすことは可能でしょう。つまり、ヴェスパではなく飛行船を使って避難することが可能です。

なぜ飛行船かって？飛行船には照明器具を搭載しますし、大型拡声器を積めば音響も出せます。

そして、飛行船はヴェスパと違って、滞空できます。

つまり……。陸上ではシュツシュタッフエルのかなわなくても、空に上がってからライブを継続することができるのです！

この案、レナルトたちに提案することができます。

提案を聞いたレナルトたちは、前のめりです。

レナルト「ライブを続けられるのか！ハハ、そりゃあすごいね！」

マネージャー「空に上がったなら拡声器の音量設定を上げれば良い。確かに、理屈の上ではできますか。」

レナルト「いや、面白いって！だってそうだろう？シュツシュタッフエルの連中の手の届かないところで、ライブは滞りなく継続。」

レナルト「これは絵になるよ。それに、ニュースになる。」

レナルト「証明してやるんだ。あいつらの暴力なんて、僕らには届かないって。」

レナルト「僕らの音楽は耳に届けるけれど、銃弾は届かないということを。」

マネージャー「危険ですよ？」

レナルト「承知の上だ。このツアーをやると決めたときから、みんな覚悟していたさ。」

その言葉に、バンドメンバーも口々に賛同しています。

マネージャー「とはいえ、今から『空中ライブステージ』の準備をするとなると、我々だけでは難しいでしょう。」

マネージャー「特に飛行船周りは知見が無い。契約飛行士の皆さんを頼らざるを得ないでしょう。」

レナルト「うん、そうだね。追加報酬なら出すよ。」

マネージャー「お金だけの問題じゃありません。ライブのクオリティにも関わる。しっかり事前準備をしていなければ、トラブルが起きてむしろ『締まらない』ライブになってしまうかもしれません。」

レナルト「わかった。契約飛行士さんたちに、どれくらい余裕があるか、が問題か。」

【ルート B 条件】を満たしているならば、ここでルート選択を行うことができます。選べる道は以下の2つとなります。

○ルート A スカイ・エスカペード — 自由へ飛ぶ翼
シュツシュタッフエルの襲撃に際してはレナルトたちをヴェスパに乗せて空から逃げる

- ・ クエスト2つ追加
- ・ チェイスフェイズでは敵を全滅させれば勝利

○ルート B ステージ・オン・ザ・スカイ

— 自由を唄う翼

シュツシュタッフエルの襲撃に際してはレナルトたちが飛行船に乗り込んで、空の上でステージを継続する

- ・ クエスト4つ追加
- ・ エキサイト・ポイントが一時的に-3される
- ・ チェイスフェイズでは護衛対象として「ライブ飛行船」が登場、扱いは次ページ

GM は、ルート B はハイリスクであり、クエストが増加しチェイスフェイズの難易度も上昇することを伝えて下さい。その上で、プレイヤー全員が相談して、全員の意見を出し合った上で、進行するルートを決定して下さい。

護衛対象の追加

ルート B のチェイスフェイズでは、以下の性質を持つ「ライブ飛行船」が登場します。PC たちは、これを守り抜かなければなりません。

「地上」に固定：

要するに、「低空」にいる敵がそのターンの機動判定で最前列に出ると攻撃ができてしまいます。5ダメージで墜落するため、攻撃が2回起これば墜落してしまいます。

PCの誰かが、「低空」の最前列を守る必要があります。

- ・ 位置を「地上」に固定 PC も NPC も航空機は「地上」に侵入できないが、自分のマニューバの開始時に「低空」にいて、かつ（機動判定後に）最前列にいるキャラクターのみ、射撃判定の対象に選ぶことができる。
- ・ 1～20すべてのマスを同一部位「船体」としてダメージチェックボックスを共有する。「船体」はチェックボックスを5個持つ。すなわち、**5ダメージで損傷し、墜落**（搭乗員死亡）となる。
- ・ 判定は行わない。回避判定もない。
- ・ 「マニューバ」を行うこともなく、イニシアチブ値を持たない。

【ルート A】

【ルート B 条件】を満たしていなかった場合、もしくは、ルート A を選択した場合、以下の描写をして、以下のクエストを開示して下さい。

- ・ 「襲撃計画について」
- ・ 「国家社会主義者の航空戦力」

レナルト「しょうがない。奴らが来たときは、ヴェスパで逃げよう。」

レナルト「迫害がどこまで追いかけて来ようとも、僕は自由に飛んでいける。それを証明するんだ。」

マネージャー「それでは皆さん、護衛の件、お願いいたします。」

マネージャー「負担をかけることになりましたが、どうか。」

【ルート B】

ルート B を選択した場合、以下の描写をして、以下のクエストを開示して下さい。

- ・ 「襲撃計画について」
- ・ 「国家社会主義者の航空戦力」
- ・ 「飛行ステージのセットアップ」
- ・ 「避難誘導の手配」

レナルト「よし…！ありがとう！」

レナルト「迫害がどこまで追いかけて来ようとも、僕は自由に歌い続けることができる。それを証明するんだ。」

マネージャー「それでは皆さん、護衛と、それから飛行船の手配にも、ご協力をお願いいたします。」

マネージャー「重い負担をかけることになりましたが、どうか。」

チェイスフェイズ



10 チェイスフェイズ

チェイスフェイズでは、選択したルートによって展開が変わります。

まず、以下の描写をして下さい。

夜。いよいよ、マヌーシュ・ジャズ・ツアーのマリエッタライブが催行されます。

ホテル前広場にはすでに多くのお客さんが集まっており、紅茶やレモネードを片手に談笑しています。円形の広場の中心部には即席の椅子が設営されており、ここが特等席。その周りは立ち見で、普通席となっています。特等席には身なりの良い上流階級の人々や実業家などが座っていますが、中にはくたびれた服装の浅黒い肌の人々もいます。格好から察するに、レナルトたちが呼んだゲスト、それも音楽家やマリエッタのマヌーシュの人々でしょう。

その人混みの中には点々と警察官が立っており、また人々の間を縫うようにしてレモネード売りが練り歩き、カップを配って小銭を稼いでいます。

「マリエッタらしいステージ演出」を解決している場合

やがて観客たちの中からどよめきが上がります。ステージの奥の巨大な壁が、上へ上へと動き出したのです。「飛行船だ！」と誰かが言うと、人々はざわめき出し、飛行船の方を指差し目を丸くしています。ヘリウムガス式の大きな飛行船が、ゆっくりと空に浮かび上がりました。

そこから強い光の柱が、広場中央のステージに刺さります。さらには広場の各所からも光が差し込みます。その中心には、いつの間に現れたか、レナルトたちの姿が。観客たちの歓声に応えるように、メンバーたちがポーズを取ります。

演奏開始

レナルト「集まってくれてありがとう！マリエッタの、そしてわざわざ外国から来てくださった皆さん！」

レナルト「今宵は最高の夜になるだろう。なぜって、僕はとつてもイケてるし、そしてこのツアーの中でも最もコンディションが良いからだ。」

レナルト「僕らは楽しく弾くから、だからみんなも、楽しんで行ってほしい。」

レナルト「最高のひとときをキミに贈ろう！」

スモークが焚かれ、演奏が始まり、観客たちも熱狂します。

ステージで聴くマヌーシュ・ジャズは別格。最初は斜に構えた態度の観客もいましたが、いつの間にやら引き込まれ、喝采しています。

「大型拡声器を調達しよう」を解決している場合

拡声器の調子も良好。反響が無いステージにも関わらず、上空から打ち下ろすようにしてステージの端まで音を届けています。特等席の空軍関係者たちも、きっと鼻高々でしょう。

襲撃者

そのまま2曲目、3曲目と続き、観客たちももう熱中しています。今まで聴いたこともないような音楽。自由なリズムで繰り出される美しい旋律が熱くこだまします。曲が終わるたび割れんばかりの拍手。観客たちの顔は輝いています。

しかしそこに、鋭い警笛の音が割り込みます。レナルトたちが演奏を止め、落ち着くように呼びかけます。警笛があった方向を見ると、おそろいの制服を着た覆面たちが。警察官数人が、30人近い暴徒と争っているようです。

レナルト「皆様、落ち着いて指示に従って下さい！ガードマンと警察の指示に従って、避難をお願いします！」

レナルト「走らずに、どうか冷静に。大丈夫、彼らの狙いは、皆さんじゃありません。」

強い光の柱：

ライムライト、別名カルシウムライト、石灰灯は、電灯より早く19世紀中頃に発明され、主に舞台照明として用いられました。高温の炎を石灰に吹き付け、発熱による強烈な白色光を発生させます。軍用では投光機として活用されました。

暴徒たちは、観客たちのざわめきをかき消すように、メガホンの大音声で呼びかけます。

暴徒リーダー「我々は、愛国団体『シュッツシュタッフエル』である。」

暴徒リーダー「そこで騒音を立てていたのは、盗人だらけの穢れた民族、マヌーシュだ。」

暴徒リーダー「奴らはゴキブリのように増殖し、盗んだり騒ぎを立てたりする。盟友国マリエッタの諸君も迷惑に思っているだろう。」

暴徒リーダー「だが安心してほしい。我々が、きちんと清掃する。」

暴徒リーダー「我々は、マリエッタの諸君には危害を加えない！安心してほしい。」

暴徒リーダー「それじゃあ……かかれー！」

暴徒たちは一斉に走り出します。警察官たちはタックルを食らって倒され、そして体格の大きな男たちに抑え込まれます。その脇を、なにか光るものを持った男たちが走り抜けます。向かう先は、レナルトたちがいるステージです。



11 スカイ・エスカペード

【ルート A】

ルート A を選択していた場合、以下の描写をします。

避難誘導が行き届いたことを確認したレナルトたちは、踵を返して、ステージ裏の発着場に向かいます。そして、暴徒たちがステージによじ登る間に、ヴェスバに乗り込みました。

このヴェスバはあらかじめエンジンを始動しています。トラブルもなく、無事発進できました。しかし、暴徒たちはニヤニヤ笑いながら空を見上げるばかりです。

夜空の上、雲の影から現れたのは、数機の複葉機。翼にはシュッツシュタッフエルのマークが入っています！

飛行部隊リーダー「あんなちゃちな飛行機で、逃げられると思ったら大間違いだ。」

飛行部隊リーダー「灯火が明るい空だ。あの戦場とは大間違いだな。」

飛行部隊リーダー「悪く思うな。お前らは目立ちすぎたんだよ。さあ、狩らせてもらうぞ。」

襲いかかる戦闘機！これをインターセプトするのが、PC たちの仕事です。さあ、空戦開始です！

敵 NPC として、ヘルムートの「He51 B-2/H(対地ガンボッド装備)」と、[PC 人数 - 1] 機の「親衛隊飛行部隊」が登場します。

このチェイスフェイズの勝利条件は、

「敵機の全滅」

このチェイスフェイズの敗北条件は、

「PC の全滅」

制空権を取れば、レナルトたちのヴェスバは逃げ切れます。

以上を伝えたら、チェイスフェイズを開始して下さい。

NPC のルーチン

全機: 中空から高空を志向、PC の撃墜を狙う。射撃判定できるときは射撃。できないときは機動判定 > 射撃、それもできなければ下降 > 射撃。イニシアティブはできる限り早くする。

12

ステージ・オン・ザ・スカイ

【ルート B】

ルート B を選択していた場合、以下の描写をします。

避難誘導が行き届いたことを確認したレナルトは、マイクを構え、語りかけます。

レナルト「大丈夫。ライブは続けます！」

レナルト「邪魔が入ってしまったて申し訳ない。でも、せっかくチケットを買ってくださったのですから、こんな中途半端じゃ終われません。」

暴徒リーダー「野郎、何言ってやがる!？」

レナルト「お客様、まずは安全な場所に避難して下さい。それからどうか、空の上を見ていて下さい！」

そう言うと、レナルトたちバンドのメンバーはステージから後ろに飛び降り、後ろでライティングをしていた飛行船に乗り込みます！マヌージュジャズであるため、重い金管楽器やドラムもありません。楽器をすべて運び込みました。

飛行船はゆっくりと浮かび上がり、投光機の方向を変えて、飛行船の船体をまばゆく照らし出します。飛行船に積まれていた空軍用の大型拡声器からは、再びギターの音が響き渡ります！

避難していた観客たちは空を見上げ、そして飛行船を見つめます。やがて、そこから流れ出る美しい音楽に聴き惚れ、手を振り、叫び、ふたたび熱狂します。

暴徒リーダー「ヘルムート、聞こえているか！奴ら、飛行船に乗り移った！あのデカブツを撃ち落せ！！」

飛行部隊リーダー「了解。奴め、気が狂ったか。」

飛行部隊リーダー「飛行船を撃つのは21年ぶりか。平和ボケした奴らは忘れちゃったんだろうな……。」

飛行部隊リーダー「あの大会で、飛行船は爆弾で街を焼いたんだ。」

飛行部隊リーダー「どいつもこいつも平和ボケしやがって。世界の安定には、大帝国の武力が必要なんだよ。」

飛行部隊リーダー「思い出させてやらなくっちゃあ。」

飛行部隊リーダー「暴力と、恐怖を。」

夜空の上、雲の影から現れたのは、数機の複葉機。翼にはシュッツシュタッフエルのマークが入っています！

襲いかかる戦闘機！これをインターセプトするのが、PC たちの仕事です。さあ、空戦開始です！

敵 NPC として、ヘルムートの「He51 B-2/H(対地ガンポッド装備)」と、[PC 人数 - 1] 機の「親衛隊飛行部隊」が登場します。護衛対象 NPC として、「ライブ飛行船」が登場します。

このチェイスフェイズの勝利条件は、

「敵機の全滅」

このチェイスフェイズの敗北条件は、

「ライブ飛行船の撃墜」

または

「PC の全滅」

敵 NPC に低空最前列を取られると、ライブ飛行船が攻撃されてしまいます。

以上を伝えたら、チェイスフェイズを開始して下さい。

NPC のルーチン

ヘルムート機：低空を志向、ひたすら低空最前列を狙う。DP を残り 2 まで使っても機動判定で前に出ようとする。機動判定で前に出られなくなったら、邪魔してきた PC 機に射撃判定を行う。イニシアティブはできる限り早くする。

モブ：

中空から低空を志向、低空最前列を狙いつつ、PC の撃墜を狙う。機動判定で前に出られなくなったら、邪魔してきた PC 機に射撃判定を行う。低空の後ろの方に入った場合、一度中空に上がってから低空に降下して前列に入ろうとする。イニシアティブはできる限り早くする。



13 エンディングフェイズ

チェイスフェイズの後は、PCたちの勝敗と、選んだルート、そしてエキサイト・ポイントによって変わる結末を描写します。エンディングフェイズの内容はプレイヤーと共同で作っていきますが、目安として使えそうな描写を以下に用意してあります。GMは、ロールプレイの内容に応じて描写を変えることを強く推奨します。

ルート A 空戦勝利

皆さんは見事敵の飛行部隊を撃墜し、制空権を確保しました。レナルトたちのヴェスパは無事、安全な空域まで脱出できたようです。

飛行部隊リーダー「墜落、この私が？たかが傭兵相手に？くそっ、なんたる恥晒しか。」

飛行部隊リーダー「老いたということか、いや、相手が強かったからだと思いたい。」

撃墜したシュツシュタッフエル機のパイロットたちは、両手を上げて投降しています。このまま警察に逮捕されるでしょう。

事前に決めておいたランデブー・ポイントで脱出したヴェスパと合流したら、見つからないように酒場ローザブルに戻ることができます。

レナルト「うまくいったな…！ありがとう、本当に助かった。」

レナルト「ライブが途中で切られてしまったのは悔しいが、しかしこれで奴らは逮捕されるんだろう？」

レナルト「この後のツアーでは、もう邪魔はしてこないだろう。」

マネージャー「お怪我はありませんか？勝てたようでなによりです。」

レナルト「そうだ、守ってくれたお礼に。ライブの続き、ここでしないか？」

バンドの仲間たちも賛同しているようです。

レナルト「空の上にいるなら、たぶん聞こえなかっただろうし。ちょっとしたお礼さ！」

そうして、酒場の中で小さなシークレット・ライブが始まりました。

ついさっきまで命の危険にさらされていたというのに、レナルトたちの演奏は大胆かつ丁寧。落ち着いた曲調からリズムに乗って盛り上げていきます。

練習ではなく「本番」というだけあって、最初に会ったときの演奏とは空気感が違います。

そうして、契約飛行士たちだけのためのライブは、夜更けまで続きました。

エキサイト・ポイント [PC人数+3] 以上の場合

翌朝。マリエッタの各紙は、ライブ会場のできごとを一面で取り上げています。

宣伝と準備を十分になされたライブは大盛り上がり。音楽評論家からも好意的なコメントが綴られています。

そして、そんなすばらしいライブを打ち切ってしまったシュツシュタッフエルに対しては、マリエッタの人々から厳しい目が向けられている様子です。

世論の後押しを受け、マリエッタの官憲は捕縛したごろつきたちやパイロットを訴追する用意です。彼らの母国である大帝国内も保護を与えるつもりはないようで、「退役」軍人であって国とは関係ないとの立場。むしろ、大使が議会に謝罪に出向いたくらいでした。

一方、身の危険にさらされながらも避難を呼びかけたレナルトたちの名望はさらに高まり。また、この事件がきっかけで、マリエッタではあまり認知されていなかったマヌーシュ差別の問題も、広く知られるようになりました。

そしてデイリー・ジョルナーレ誌では、記事をこう締めくくっています。

「何より誇らしいのは、空戦で見事な勝利を納めた契約飛行士たちである。彼らが、マリエッタの力と独立を世界に知らしめてくれたのだ。」

エキサイト・ポイント [PC人数+1] ~ [PC人数+2] の場合

翌朝。マリエッタの各紙は、ライブ会場のできごとを二面や三面で取り上げています。

急場しのぎながら準備したライブは盛り上がりを見せ、参加者たちの声として好意的なコメントが寄せられています。

そして、ライブを妨害しマリエッタの主権を軽んじたシュツシュタッフエルに対しては、人々から冷たい目が向けられています。

捕縛したごろつきやパイロットは、マリエッタ政府と大帝国内との協議の末に「退役軍人であって国とは関係ない」ということとなり、訴追ができる見込みです。

一方、身の危険にさらされながらも避難を呼びかけたレナルトたちの勇気は口コミで広まり、「マヌーシュジャズ」とマヌーシュの名はマリエッタでも知られるようになりました。

そしてデイリー・ジョルナーレ誌では、記事をこう締めくくっています。

「外国から持ち込まれたトラブルだったが、マリエッタの誇るべき契約飛行士たちが見事勝利し、収拾してくれた。」

エキサイト・ポイント [PC 人数] 以下の場合

翌朝。マリエッタの一部の新聞で、ライブ会場でできごとが取り上げられました。

ライブは観客は少なかったものの、近くで聴くことができた客たちはレナルトの技量を褒め称え、途中で終わらせられてしまったことを残念がっています。

ライブを妨害したシュッツシュタッフエルのごろつきやパイロットは、大帝国の人間、それも退役軍人が含まれているということで、マリエッタ政府は訴追に及び腰です。大帝国政府は無関心で、結局国外追放処分です。終わりました。

ルート A 空戦敗北

残念ながら、皆さんは撃墜され、シュッツシュタッフエルに制空権を奪われてしまいました。彼らはそのまま鈍足なヴェスバを追撃。近くにいた契約飛行士が、空賊だと思って妨害に入りましたが、時既に遅くヴェスバは地上に叩き落され、さらに機銃で穴だらけにされていたそうです。

駆けつけた警察が、群がるシュッツシュタッフエルのごろつきたちを抑えながら、機体から焼け焦げた遺体と折れたギターを運び出しました。

大帝国の退役軍人を含む右翼団体が、マリエッタ国内で堂々と暗殺を成功させ、そして世界的なジャズスターが殺害されたということは、世界に衝撃を与えました。大帝国は犯人たちを庇いたてせず、ごろつきたちやパイロットは訴追されることとなったものの、本国の仲間たちから英雄扱いを受け、高給で良い弁護士も雇ってもらっているといえます。

仲間が捕まろうが関係なく、暴力によって目的を成し遂げる。シュッツシュタッフエルはその力を誇示することに成功しました。マヌーシュのみならず多くの少数民族は震え上がり、一方この右翼団体には多くの志願者が入ったといえます。

ルート B 空戦勝利

皆さんは見事敵の飛行部隊を撃墜し、レナルトたちの飛行船を守り抜きました。空戦をバックにライブは継続。近くのホテルの窓という窓が開かれ、多くの人々が悠然と飛ぶ飛行船を目にし、そして流れる音楽に聴き惚れました。

飛行部隊リーダー「落とされた!?これで終わり!? そんな、あんな、あんな飛行船1隻落とせずにか…!」

飛行部隊リーダー「なんたる恥晒し!なんたる失態!これでは、我々は世界の物笑いの種だ……!」

飛行部隊リーダー「ゲリング様、申し訳ありません……。」

撃墜したシュッツシュタッフエル機のパイロットたちは、両手を上げて投降しています。リーダーの老兵は、顔を覆って涙を流しています。このまま警察に逮捕されるでしょう。

空戦の結果を悟ったシュッツシュタッフエルの地上部隊たちも、逮捕を恐れて散り散りになって逃げ出します。何人かは逃げ切れず、警察に捕まったようです。

制空権を勝ち取った皆さんは、このまま周回飛行を続けながらライブを聴いても良いですし、着水してステージに戻っても良いでしょう。騒ぎが収まったのを見た観客たちは、徐々にステージに戻ってきているようです。

ライブはそのまま夜更けまで継続。万雷の拍手を受けながら、フィナーレに向かいます。

レナルト「アンコール、ありがとう!でも、ごめん。もうおしまいにしなくっちゃあいけないんだ。」

レナルト「実は、飛行船の燃料がそろそろ厳しいらしくって。」

レナルト「それじゃあ最後に一曲!この曲は、聴いてくれたお客さんたちと、それから、空で僕らを守ってくれた契約飛行士たちに、捧げよう!」

飛行船を着陸させ、ステージに戻ってからの最後の演奏。それは今までで一番のデキでした。大胆なことにその場で即興で機銃の発射音をリズムに取り入れ、この晩起きたことを観客たちの心に刻みつけます。

レナルトたちは最後に一礼すると、皆さんの方を向いて手を振って、そして退場。割れんばかりの拍手が巻き起こりました。

ゲリング様:

本シナリオはフィクションであり、実在の人物とは関係ありません。

エキサイト・ポイント [PC人数+4] 以上の場合

翌朝。マリエッタの各紙は、ライブ会場のできごとを一面トップや号外で取り上げています。

宣伝と準備を入念に行ったライブは大盛り上がり。音楽評論家からも好意的なコメントが多数です。

ライブで予定していた曲をちゃんとすべて演奏できたということで、レナルトたちも満足な様子。そして観客たちも口々に、マヌーシュジャズという新たなジャンルのすばらしさを褒め称えています。

シュッツシュタッフエルの襲撃を受けながらも飛行船からライブを継続したことについては賛否両論あるものの、避難誘導をしっかりと行っていたため死傷者も出ず、ミュージシャン精神の表れとして前向きに受け取られています。

一方、シュッツシュタッフエルに対する風当たりは厳しいものとなりました。まず、捕縛されたごろつきたちとパイロットたちは訴追されることとなり、大帝国も「退役軍人なので無関係」という態度を貫いてかばう素振りも見せません。大帝国人が犯した重大な犯罪行為だということで、大使が議会で謝罪に来たほどです。

そして、国際的なスーパースターが襲撃を受けたこと、それにも関わらずライブを完遂し、空戦でも（空軍ですらない）契約飛行士たちが勝利を収めたというストーリーはインパクトが強く、海外の多くの新聞によって書き立てられました。西の大陸のある新聞は、「トータルリストたちの運動が……しょせん"ままごと"に過ぎなかったということを白日の下に晒した」と論じました。

もはや、シュッツシュタッフエルは政治勢力としては真面目に受け取られていません。恐怖こそがその力の源泉であり、今回の一件でそれを引き剥がされてしまったのです。皆さんは、知ってか知らずか、この世界の歴史を変えてしまった……のかもしれない。

エキサイト・ポイント [PC人数+1] ~ [PC人数+3] の場合

翌朝。マリエッタの各紙は、ライブ会場のできごとを一面で取り上げています。

宣伝と準備を十分になされたライブは大盛り上がり。音楽評論家からも好意的なコメントが綴られています。

シュッツシュタッフエルの襲撃を受けながらも飛行船からライブを継続したことについては賛否両論あるものの、レナルトたちは身の危険にさらされながらも避難を呼びかけたということで、好印象を与えています。

世論の後押しを受け、マリエッタの官憲は捕縛したごろつきたちやパイロットを訴追する用意です。彼らの母国である大帝国も保護を与えるつもりはないようで、「退役」軍人であって国とは関係ないとの立場。むしろ、大

使が議会で謝罪に出向いたくらいでした。

結果、シュッツシュタッフエルはこの一件で大きなダメージを受けることとなります。まず、実働部隊の人員を喪ったこと。そしてそれ以上に、普段から暴力と恐怖を誇示していたにも関わらず、飛行船で歌い続ける少数民族を殺しきれなかったということが、イメージを損ないました。デイリー・ジョルナーレ誌は、「シュッツシュタッフエルは、大帝国の威光を笠に着るごろつきに過ぎなかった。契約飛行士たちがそれを証明してくれた」と書いています。

エキサイト・ポイント [PC人数] 以下の場合

翌朝。マリエッタの各紙は、ライブ会場のできごとを二面や三面で取り上げています。

急場のぎながら準備したライブは盛り上がりを見せ、参加者たちの声として好意的なコメントが寄せられています。

シュッツシュタッフエルの襲撃を受けながらも飛行船からライブを継続したことについては賛否両論あり、「観客の安全を考えたら中止すべきだった」と非難する新聞もあります。

とはいえレナルトたちは満足げな顔です。予定していた曲をすべて演奏できましたし、これから口コミで評価が上がっていくと期待している様子です。それだけ、自分たちの演奏に自信があるのでしょう。

ライブを妨害したシュッツシュタッフエルのごろつきやパイロットは、大帝国の人間、それも退役軍人が含まれているということで、マリエッタ政府は訴追に及び腰です。大帝国側では、彼らが「恥を晒した」と陸軍を中心に糾弾しており、世論も混乱したまま終息に向かい、結局国外追放処分が終わったようです。

今回の一件についてデイリー・ジョルナーレ誌は、「我が国の契約飛行士たちが大帝国の退役軍人たちと空戦して勝利を収めたことは大変誇らしい。外国から持ち込まれた問題だったが、無事押し返すことができたのだ。」と書いています。

ルート B 空戦敗北

レナルトたちが乗っていた飛行船は、撃墜されてしまいました。吹き出すヘリウムガスの下で船体はおおきくひしゃげ、多数の銃弾を受けて炎上しています。

シュッツシュタッフエルのごろつきたちをかき分け、駆けつけた警察官たちは恐怖の表情を浮かべます。中から出てきたのは焼け焦げた遺体と、折れたギターでした。不業の死を遂げたスーパースター。最期まで演奏を続けようとした彼を、世論は半ば神格化するようになり、そしてそんな悲劇を起こしたシュッツシュタッフエルを激しく糾弾するようになります。世論の後押しを受け、捕縛されたごろつきたちは訴追されることとなりました。

この悲劇を作った原因であるシュッツシュタッフエルに対しては激しいバッシングが巻き起こります。しかし……。それによって、この組織はさらに力を付け、政治力を高める結果となってしまいました。

もとよりメインストリームの中道な世論に対するアンチテーゼとして誕生した極右団体。そして、彼らの悪行が知られ報道されるほどに、その悪名は高まり恐怖の力は増幅されます。シュッツシュタッフエルが一声脅せば商店や少数民族は震え上がり、小国の警察すらも及び腰になるほどです。

レナルトたちの歌声は途絶え、その代わりに、極右団体が撒き散らす敵意と悪意が世界を覆ようになっていきます。

データセクション

19 NPC と乗機

以下に、主要な NPC のデータと、乗機のデータを記載します。
[] の中にはその NPC の「異名」を、欄外には運用の指針等を記します。

マヌーシュ・ジャズ ツアー

“流浪の民の星”				
ドゥジャン・レナルト (80)				
【技術】	1 2	【感覚】	1 5	【反応】 9 【教養】 8
○生ける伝説	初期物資点 200			
○カリスマ	即座に任意キャラクターに対する【キズナ】を 1 点取得			
○一芸	1 セッション 3 回 アクションを消費して、同マス全キャラクターの【乗り手コンディション】を 2 増減			
○貧民出身	絶不調／絶好調の効果を受けない			
ジャズの新天地を切り拓いた伝説的ギタリスト。流浪のマヌーシュ族伝統の音楽と西の大陸のジャズを発展的に統合し、新たな音楽ジャンルを作り上げました。				
陽気で自由な性格で時間にルーズですが、同胞に対する責任感強く、北の大陸の政治情勢を憂いて自分に何かできることがないかと考えています。				

“マネージャー”				
マンフリー・ベン (86)				
【技術】	4	【感覚】	6	【反応】 2 【教養】 9
レナルトたちのバンドのマネージャーで、今回のツアーの進行役を務めています。行く先々で通訳や運転手を手配しながら広告代理店との最終調整も行っており、だいぶパンク気味です。				
服のセンスがやたらに良く、スタイリストたちからも一目置かれています。				

□ ッキー・カフアーノ (61)						
ライブ飛行船						
練度	1 4	攻撃力	—	イニシアチブ	—	
射撃判定	—	回避判定	—	機動判定	—	対抗判定 —
旧式のヘリウム式飛行船で、パイロットはかつて北西の島国で同型船のパイロットを務めていたカフアーノです。現役時代は正確で落ち着いた操縦で評価されており、退役後マリエッタで暮らすようになって、その本質は変わっていません。子どももひとり立ちして、今はシティから離れた一軒家で妻と静かに暮らしています。飼い猫が 2 匹います。						

「シュッツシュタッフエル」

"喪失者"							
ヘルムート・ファルケ (51)							
【技術】	8	【感覚】	7	【反応】	5	【教養】	7
○頑健	1セッション1回 操縦席が[損傷]して墜落しても、負傷しない						
○トレーラー	1セッション3回 移動時に移動表を振らずに1マス移動						
○古典派	セッション終了時に能力値の成長を行うことができない						
<p>「シュッツシュタッフエル」のベテランパイロットで、大戦期は東部戦線で弾着観測を担いました。航空機の操縦桿が重く機銃も積んでいなかった時代からの飛行経験があり、SSの中でも一目置かれ航空隊の教官のような役割を果たしています。</p> <p>10年前に陸軍を退役してからは、家族も生きがいもなく抜け殻のような生活を送っていました。そして、大戦の間に親や多くの戦友を喪ったこともあり、極右活動家に傾倒。国家社会主義者たちの排外主義運動に参加するようになっていきます。酒飲みで、特にすっきりとした口当たりのラガービールを好んでいます。</p>							

"棍棒"							
カルスタン・ベッカー (82)							
【技術】	3	【感覚】	5	【反応】	4	【教養】	5
○マッスル	1セッション3回 能力値の代替として【筋力】9を使用可能						
○貧民出身	絶不調/絶好調の効果を受けない						
<p>「シュッツシュタッフエル」の襲撃者の中でも、地上部隊の指揮を担っています。身長2.1mの巨漢で、大帝国陸軍の退役軍人として肉弾戦闘では無敵とっていい強さを発揮します。</p> <p>シュタッフエルの一員であることを誇りに思っており、特に有名デザイナーがデザインしたSSの制服はいつもきれいにアイロンして使っています。</p>							

He51 B-2/H(対地ガンボッド装備) ハインケル社							
攻撃力	4	機動力	6	視認性	3	出力	10
☆アシマワリ	徹底した軽量化		機動力+1				
☆ツバサ	翼面 20mm 機銃		1チェイス3回 {ダメージチェック} で与えるダメージ1つはダメージチェックボックスを2つ塗りつぶす				
☆コックピット	思い出の写真		1チェイス1回 【キズナ】支援テックを取り除く				
<p>ハインケル社が開発したHe51シリーズの中でも、偵察用にフロント装備を付けた水上機タイプの機体。金属フレームに羽布張り、V-12液冷エンジンを搭載している。現在の空戦環境では速度が足りず、戦闘機としては型落ちとされているものの複葉機として高い機動力を備えており、対地攻撃能力は高く、「近接航空支援」の戦術が確立されたのもこの機体に乗ってのことだという。</p> <p>本機は地上の機銃掃射任務ということでさらに対地攻撃能力を強化するため、翼面に20mmの大型ガンボッドを備えている。これによる機体重量の増大を抑えるため、機体各部の軽量化は徹底されている。</p>							

親衛隊飛行部隊							
練度	8	攻撃力	3	イニシアチブ	16		
射撃判定	2	回避判定	2	機動判定	2	対抗判定	2
<p>退役軍人や趣味の飛行家など、シュッツシュタッフエルの中でもパイロットとしての訓練を受けた者たちです。一通りの訓練は受けており安定して飛ばすこともできますが、夜間飛行の経験は少なく実戦経験も乏しく、マリエッタで通用するものではありません。</p>							